

# 地域で広める人生会議

-青森の地域緩和ケア連携調整員達の活動-

青森県立中央病院  
緩和ケアセンター  
山下 慈

# 青森県の現状

## 本州最北端の青森県

- ・ 総面積は 9,645.56km<sup>2</sup>、全国第 8 位の広さ
- ・ 人口：124.9 万人

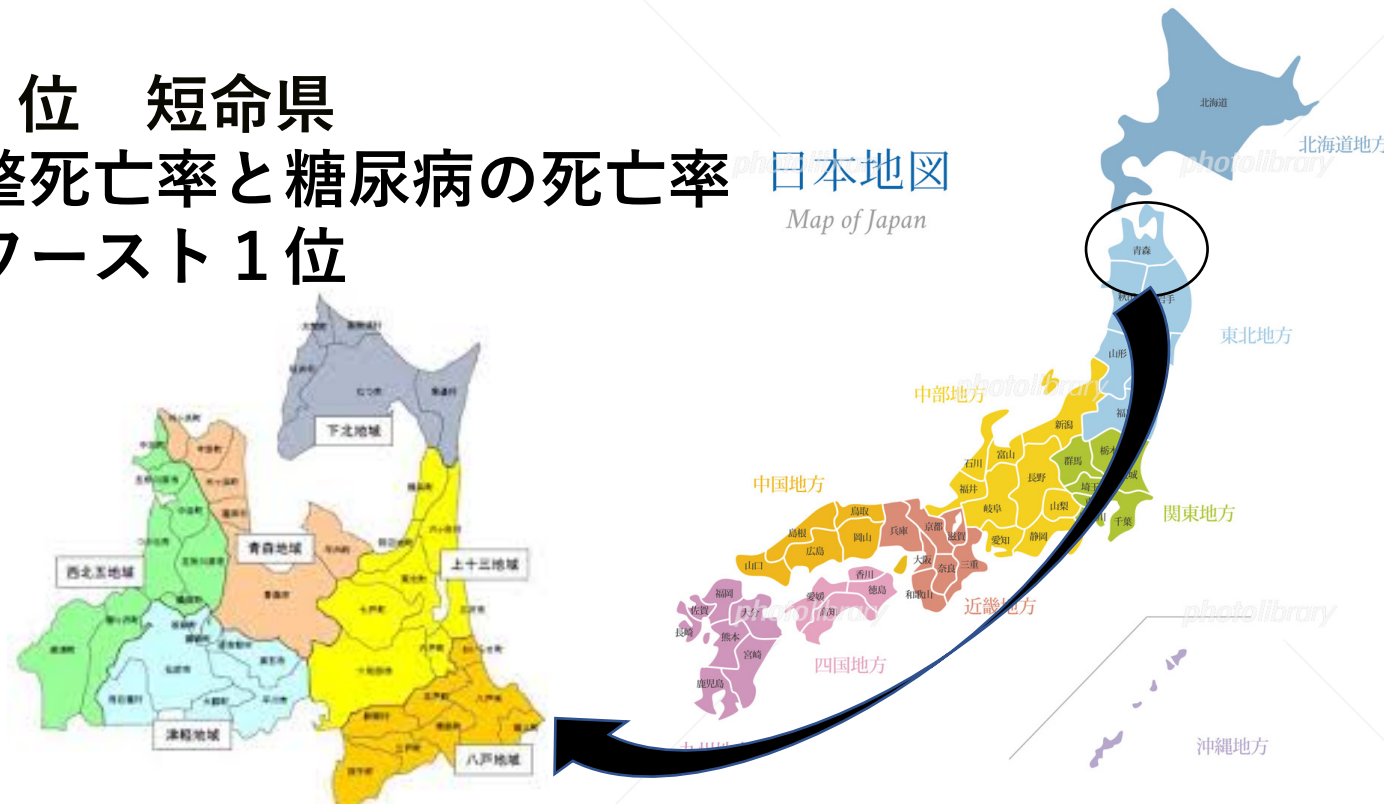
## ・ 青森県の高齢化率（2019年2月）32.07%と過去最高を更新

今別町が53.45%と14年連続で県内最高。

40%を超えた自治体は40市町村の内10市町村

## ・ 全国ワースト 1 位 短命県

がんの年齢調整死亡率と糖尿病の死亡率  
もともに全国ワースト 1 位



# 青森県立中央病院

## チャレンジプラン2019策定

中央病院

取組方針

A 高度・専門・政策医療の提供

B 良質で安全な医療サービスの提供

C 地域医療支援と医療・介護との連携強化

D 良質な人材の確保と専門能力発揮に向けた体制構築

E 経営基盤の強化

目指す姿

○ より質の高い高度・専門政策医療の提供

○ 住み慣れた地域で安心して医療・介護を受けられるような体制の構築

# 協力してくれる地域の仲間

青森県医師会  
青森県訪問看護ステーション連絡協議会  
全日病青森

青森県薬剤師会  
青森市薬剤師会

日本認知症グループホーム  
協会青森県支部  
青森県老人福祉協会  
青森県老人保健施設協会

青森市歯科医師会  
西つがる歯科医師会  
北五歯科医師会  
南黒歯科医師会

青森県看護協会

在宅緩和ケアマップ

青森市医師会  
西北五医師会

12市町村

青森在宅緩和ケア懇話会  
【会員300名】

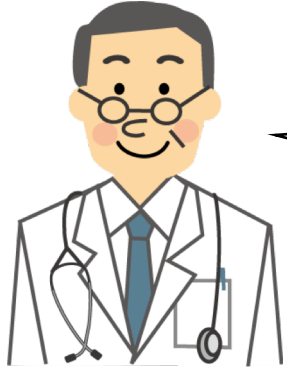
青森県立中央病院緩和ケアセンター

青森病院事業管理者

青森県立  
つくしが丘病院  
(精神病院)

青森県健康福祉部  
(医療薬務課・高齢福祉保険課)

# 人生会議、さてどう進めますか？



病院だけで考えちゃだめ  
地域の人に聞いてみなさい  
地域がやる気になってくれること  
が大事なこと

船頭役のセンター長

## 地域とすすめる人生会議

体制づくり

人生会議の重要性を普及

地域の実態・ニーズ調査

# 地域の実態・ニーズ調査

---

# 青森県内の特養に人生会議の取り組みを調査

平成30年4月に県内の特養を対象に調査  
(青森県健康福祉部と協働調査)

## 6 2施設が回答

### ・本人とは約7割が面談していない

内、利用者本人と意思疎通が可能である場合も33.9%が話し合っていない

### ・施設では、家族と誰が話し合っていますか？

看護師35%、生活相談員が35.9%

### ・面談のタイミングは？

定期的に面談しているは4.8%

入所時が58.1%、体調が悪化した時35.5%

### ・「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」は82.3%が勉強していない

# 青森市と東津軽郡の関係者への調査

## 1. 対象及び調査期間

平成30年11月28日～12月19日

東青地区の市町村及び各職能団体、病院、  
介護老人保健施設・介護老人福祉施設の56施設

## 2. 調査内容

- ①地域で共通した人生会議の内容を検討していく必要性
- ②平成30年度のACPに関する研修会の実施状況
- ③令和元年度の研修会予定
- ④人生会議に関する取り組み状況



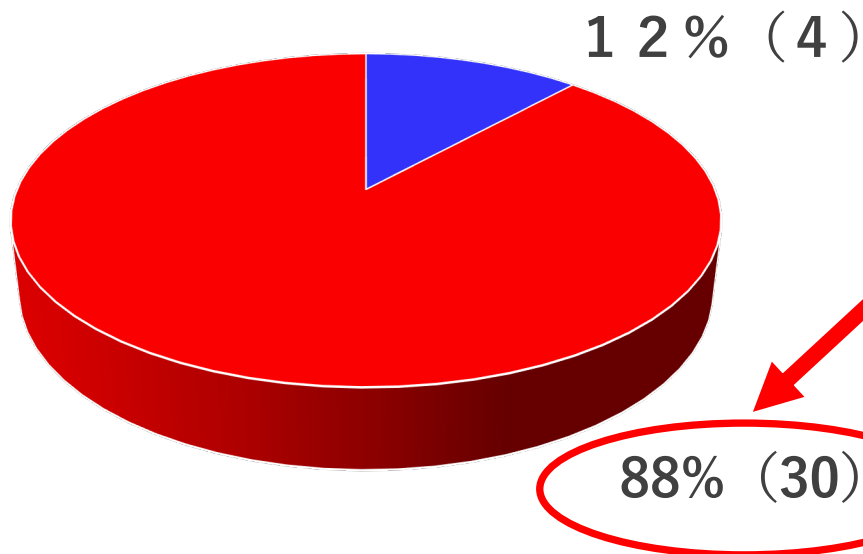


# 人生会議の取り組み状況をアンケート調査

## 3. 結果

- 1) 回収率 60.7% (34施設/56施設)
- 2) 地域で人生会議の内容を共通していく必要性

地域で人生会議の内容を共通していく必要性



■ わからない ■ 必要だと思う

9割近くが共通の内容が必要と認識

## 3) 人生会議の研修会について

19施設 (55.9%) が研修会に協力したいと回答

# 人生会議の重要性を普及

---

# 「がん患者さんの声」が 地域住民に人生会議の重要性を訴える



一人暮らしの腭頭部がん患者  
食べたい・歩きたい・話したいを実現した  
故 若林 和子さん（86歳）

製作・著作 青森市医師会・青森テレビ  
企画・プロデュース 南収  
青森在宅緩和ケア懇話会  
監修 青森県立中央病院

平成30年度医療介護総合確保法に基づく県計画（医療分）策定のための事業提案  
（在宅医療研修）の助成金にて製作

# 輝いて生きる

1. 講演 「現場で今困っていること、相談したいこと」
2. 対談 「ちゃぶ台で語る ささきまことさんの人生会議」



ささきまことさん  
(俳優)

ステージ4のがんだと  
言われちゃったんだよ

ちゃぶ台で語ってみませんか、  
これからのこと



総合司会 川口浩一  
(フリーアナウンサー)

3. DVD上映 「地域が支えた在宅死の実例  
一人暮らしの膵頭部がん患者」 (青森市医師会製作)



食べたい・歩きたい・話したい  
を実現した 故 若林和子さん

令和元年 8月31日 (土) 14:00 ~ 16:00 (13:30開場)

〈場 所〉 アピオあおもり 2階 イベントホール  
(青森市中央3丁目17-1) 電話: 017-732-1010  
※駐車場が限られておりますので、なるべく公共交通機関  
ご利用ください。

〈入場料〉 無 料  
〈お問合せ・お申込み〉 一般社団法人青森市医師会  
(〒030-0821青森市勝田1丁目16-1)  
電話: 017-777-1501 FAX: 017-777-1503

〈締 切〉 8月19日 (月) まで (事前に電話またはFAXでお申込みください)  
〈共 催〉 一般社団法人青森市医師会・青森県立中央病院・青森在宅緩和ケア懇話会  
〈後 援〉 青森市・外ヶ浜町・平内町・蓬田村・今別町

地域と共に開催する研修会  
・がん患者さんの生の声  
を届けること



・関心のある団体と共催  
で開催すること

・市町村に後援をお願いし、  
市民だよりで広報

# 「がん患者さんの声」が県民に届く

## アンケート自由記載一部抜粋

- ・人生会議を初めて知った。身内が遠方でなかなか会うことができないので、後悔しないよう話し合うことが大事だと思った
- ・周囲の人たちが押しつけや、せかすことがないよう、注意・配慮が必要だと思った
- ・最期まで頑張って生き抜いた若林さんに敬意を表したい
- ・治療方法も大切ですが、家族とどう過ごのか、生きたい動機を明確に持つておくことが大事だと思った

参加者が全員が人生会議に関心を持ったと回答

# 「がん患者さんの声」が 地域住民に人生会議の重要性を訴える

## 誓約書のお願い

- ・在宅医療及び人生会議に関わる医療・介護関係者のために製作したDVD
- ・DVDの複製、改変、放送、レンタル、インターネット、モバイル等の発信はできません。

上記内容について誓約頂くことをお願いいたします。

若林さんが伝えたかったこと、大事にしたかったこと  
ぜひ皆さんの地域に届けてください。



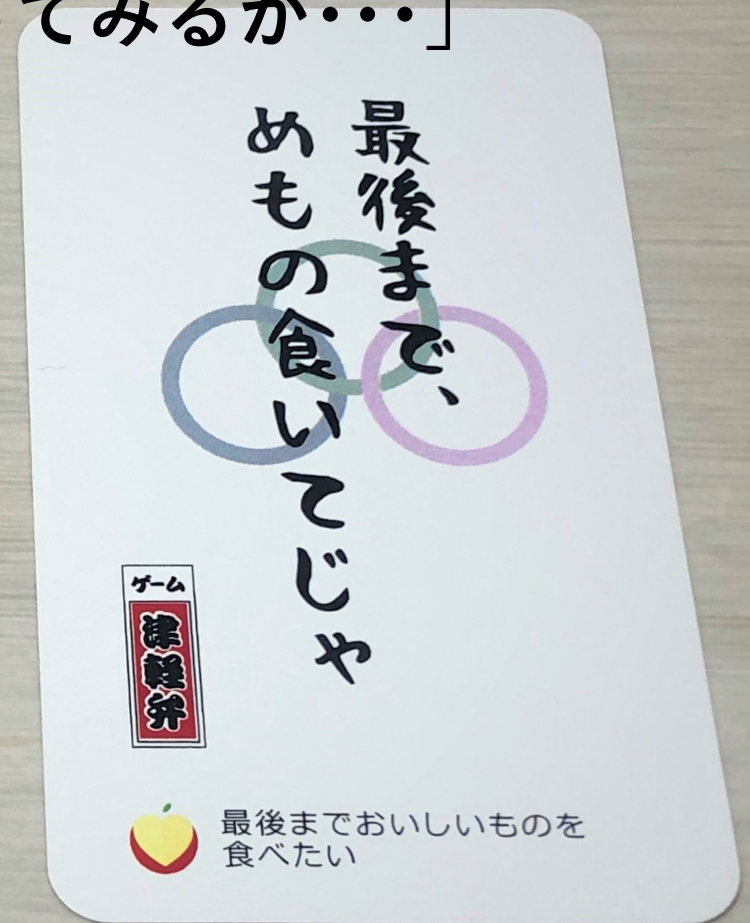
一人暮らしの腭頭部がん患者  
食べたい・歩きたい・話したいを実現した  
故 若林 和子さん（86歳）

製作・著作 青森市医師会・青森テレビ  
企画・プロデュース 南收

青森在宅緩和ケア懇話会

監修 青森県立中央病院

「津軽弁でやれば、  
おもしろくなるんでねべが？  
やってみるが…」



社会福祉法人中央福祉会が市民、医療・介護関係者を対象に  
人生会議普及に向けて取り組んでいます。

資料2019年2月24日朝日新聞掲載

# 「どせばいい」ゲームに参加した県民の声

第16回症例検討会・第137回青森在宅緩和ケア懇話会

アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)  
について考えよう

日時: 令和元年7月27日(土)14:00~16:30  
場所: 青森県立中央病院 3階 研修室  
対象: 医療・介護従事者  
定員: 50名

14:00~15:00

座長 芙蓉会 村上病院 内科医 橋川 正利 先生

『アドバンス・ケア・プランニング  
“綺麗なままで死にたい”を支えたケア』

“綺麗なままで死にたい”という患者の思いや価値感を、どう引き出し支えるか、症例を通してアドバンス・ケア・プランニングのプロセスについて考えてみましょう。

報告者 青森慈恵会病院 看護師 工藤 美幸

15:00~15:15 休憩

15:15~16:30

『どせばいい?ゲーム』

あなたの地域では、アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)をどのように進めていますか? 特別養護老人ホーム三思園で始まった、カードを用いたゲーム感覚のアドバンス・ケア・プランニングを紹介します。

特別養護老人ホーム勝田三思園 看護主任 高橋 進一

事前申込が必要です。 FAX用紙にてお申込みください。

【申込締切:7月19日(金)】

■本会は、日本医師会生涯教育制度に係る認定講座(2単位)を予定しております。

※カリキュラムコード(80)在宅医療

■本会は、日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師制度を予定しております。

■本会は、日本病院薬剤師会 生涯研修認定制度を予定しております。

■本会は、緩和医療療法認定薬剤師資格単位を予定しております

共催: 青森在宅緩和ケア懇話会・青森県病院薬剤師会・青森市薬剤師会

後援: 青森市医師会

参加者連絡先:  
青森県立中央病院 緩和ケアセンター  
TEL 017-752-8549 ← 番号が変わりました  
FAX 017-752-8671

## アンケート自由記載一部抜粋

- ・ 死を考えることは、自分の生き方を考えることだと思いました
- ・ カード等で色々考え、発言できることが一番素晴らしい
- ・ とてもよい時間でした。自分自身の人生会議を考えることができました
- ・ いろいろな考え方がわかり楽しかったです



# 新たな挑戦 認知症になる前の人生会議

令和元年度

認知症疾患医療センター多職種研修会・市民公開講座

～人生会議始めてみませんか～

「人生会議」(ACP アドバンスド・ケア・プランニング)とは  
もしもの時のために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、  
家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合っておくことです。  
もしものときのことを準備しておきませんか。ご参加お待ちしております。

日時:令和元年12月14日(土)

13:30~15:30(13:00開場)

場所:青森県立中央病院 3F研修室

定員:50名(先着順)



13:30~ 認知症疾患医療センターの活動紹介

13:40~ 講演「人生会議(ACP)ご存知ですか」

もしものとき、「どせばいい?」。カードゲームで体験してみましょう。

青森県立中央病院 がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師 山下慈

特別養護老人ホーム三思園 看護主任 高橋進一

14:40~14:55 休憩

14:55~ トークセッション「人生会議に期待するもの」

座長:青森県立中央病院 がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師 山下慈

法テラス青森法律事務所 弁護士 神保壽之

つくしが丘病院 認知症看護認定看護師 藤田和香子

社会福祉法人青空会 成年後見人 水上里紗



精神専門病院  
青森県立つくしが丘病院と共催  
がんから始まり、  
認知症疾患や高齢者に拡大

【お問い合わせ・お申込み】 ※裏面が申込用紙になっています

青森県立つくしが丘病院 認知症疾患医療センター

TEL: 017-787-2121 FAX: 017-788-5086 担当:津川宛

【締め切り】

令和元年11月29日(金)

【共催】青森県立つくしが丘病院・青森県立中央病院

認知症介護者には  
必ず証を発行いたします



神戸大学からの支援により

「患者の意向を尊重した意思決定のための研修会 相談員研修会」

令和2年2月22日開催予定

主催：青森県立中央病院

後援：神戸大学医学部附属病院、青森県医師会、青森県歯科医師会  
青森県薬剤師会、青森県看護協会、青森在宅緩和ケア懇話会  
青森県老人保健施設協会、青森県老人福祉協会、青森県介護支援専門員協会

### 地域からの声

#### ・医療、介護関係者

「参加したいけど医師がいないと参加できないのは困る」

「参加すると施設（老健）に医師がいなくなる」

「医師に参加したいからと声をかけるのはちょっと・・・」

1軒1軒、メールと電話、医師会等の地域の会議で  
地域の医師に参加をお願い

人との縁を紡ぐことで、一緒に地域に広める仲間が増えていく

# 人生会議を進める体制づくり

---

# 私達が次に目指したい「岩手県北上市」の紹介

## 「思いを紡ぎ、伝える」の「わたしのきぼうのノート」

市民と行政、医療者が一緒に作成した心づもりのノート  
自分の過去・現在・未来を考えることが出来る内容

5つのテーマ

- ・わたしの連絡帳
- ・これからの人生プラン
- ・もしも生活の手助けが必要になったら
- ・老いや病気と共にくらしていく
- ・わたしの想いを伝える

### ここがすごい！

- ・住民が参画して作成したこと
- ・自分の過去と現在、未来を考える内容であること
- ・行政が主体となり地域に普及活動をしていること  
(地区ごとに実際に記入する勉強会の開催)



岩手県北上市「わたしのきぼうのノート」

[https://www.city.kitakami.iwate.jp/life/kenko\\_fukushi\\_kaigo/koreishafukushi/13626.html](https://www.city.kitakami.iwate.jp/life/kenko_fukushi_kaigo/koreishafukushi/13626.html)

# 人生会議を地域が一体となって進めていくために

**がん**から始まり、今は**県民**が対象になりました。

それは、

がん患者さんが望んでいることは、県民皆が望んでいることだからだと思います。

私達が地域で人生会議を広めていくために**大事**にしていること

- ・ 1軒、1軒地域をまわる**地道な活動**を大事にする
- ・ 否定はしない、**地域の強みを発掘**する
- ・ 主体は病院ではなく、**地域が主役**である

**人との縁、関係、想い、夢、命、**色々なことを**紡ぐ**  
ことで**仲間**ができ、そして**地域は強くなる**

ご清聴ありがとうございました  
青森の地域緩和ケア連携調整員一同より